



～安心して、気持ちよくかかれる病院～

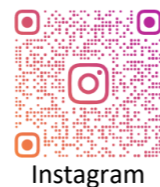
医療法人社団

中津胃腸病院

〒871-0162
大分県中津市大字永添510番地
TEL : 0979-24-1632 FAX : 0979-22-9800



ホームページ



Instagram



公式LINE

中津胃腸病院 NURSE STORY BOOK

あなたの看護が
きっと見つかる

新卒者に聞いてみた
本音を語る
インタビューブック





MESSAGE

看護部長 小野原 英美

当院は昭和55年40床で開院、平成元年現在地に移転し、112床増床となりました。消化器疾患を中心に、血液内科・緩和ケアにも取り組んでおり、平成26年11月に緩和ケア病棟を開設しました。高齢化社会を迎えるにあたり、社会が医療に求めるニーズは年々増加していくことが考えられます。看護師に求められる業務も病院の中だけでなく、地域に向けた連携が今以上に求められてきます。対応できる体制の確立、人材育成に取り組んでいます。笑顔と思いやりを持ち、働き続けられる職場を目指して試行錯誤の毎日です。ともに頑張ってもらえるスタッフを募集しています。是非、一緒に働きましょう。

【病院概要】

診療科目

外科・消化器外科・内科・消化器内科・肛門外科
リハビリテーション科・疼痛緩和内科・麻酔科

病床数

112床（一般急性期・地域包括ケア・緩和ケア）

看護体制

急性期一般入院料1（7：1看護基準）

看護単位

2病棟（一般急性期）	52床
3病棟（一般急性期）	3床
（地域包括ケア）	43床
緩和ケア病棟	14床
外来・手術室	

夜勤体制

変則2交替	
一般急性期・地域包括ケア病棟	3人夜勤
緩和ケア病棟	2人夜勤

看護方式

固定チームナーシング

中津胃腸病院は、胃がん、大腸がんなど悪性疾患から、胆石症、クローン病、大腸憩室炎などの良性疾患まで消化器疾患を中心とする急性期病院で、肺炎などの高齢者救急にも対応しています。

悪性疾患の手術はもちろん、胆石、胆のう炎、ヘルニアなどの腹腔鏡下手術を行っています。また、急性虫垂炎や消化管穿孔・腹膜炎については、的確な診断と迅速な手術を行える体制を整えています。根治が得られなかったがんに対しては、化学療法、緩和的治療まで当院で切れ目なく治療を行うことができます。

また、平成26年11月緩和ケア病棟開設を致しました。そして、地域包括ケアシステムの中での当院の役割を果たすべく、平成29年入退院支援センターを開設し、令和5年地域連携センターに改名。入院予約をされた患者さま及び当日入院決定された患者さま一人一人の状況を早期より把握し、入院前・入院中・退院後も含めた多職種の連携による支援を提供できるよう、患者サービス向上を目指しています。また、地域の医療機関・施設からのご紹介をよりスムーズに行えるよう支援しています。地域の皆さまが安心して入院・退院できるよう取り組んでいます。訪問診療から訪問看護まで地域に根差した医療を提供しています。



看護理念

『尊重』『思いやり』『信頼』の
安心な看護を提供します

【看護方針】

1. 患者様を尊重し 思いやりの心で安心・安全な看護を提供します
2. 患者様の苦痛緩和をはかり生活の質（QOL）の維持・向上を支援します
3. 専門職として人間力・看護力の向上をはかり日々の看護実践に活かします
4. 地域包括ケアシステムでの連携強化をはかり安心して退院できるよう支援します
5. チーム医療として各職種との協働・連携のもとチームワークを大切に行動します

優しい先輩

仲の良い同期に囲まれて
私はこの病院で成長しています。

休みの日は何をしていますか？
休日は、買い物に行ったり、気分転換に遠出したりしています。当院がある中津市は、大分市と北九州市の中間に位置しているのですが、どちらにも車で行くことができますので、よく遊びに行っています。

看護師としての目標は？
先輩達のように効率よく仕事ができる看護師になりたいです。そのためには、看護に対する知識を増やす必要があるのですが、日々勉強です。また余裕をもって患者様一人一人、しっかりと向き合っていける看護師になりたいです。

看護学生に向けて。
勉強や実習など大変で、きついこともたくさんあると思いますが、最後まであきらめずに頑張ってください。今努力していることは、働きだしたときに必ず役に立つと思います。私は看護師という職業をとっても尊敬しています。人のため、患者様のために活躍できることはすごいことだと思っています。私もまだまだ新人で、できない事もたくさんありますし、わからないこともたくさんあります。でも知識を増やすために私も努力します。当院は三年目の看護師からプリセプターになりますので、私も将来プリセプターとして指導できるように頑張りますので、皆さんもあきらめず一緒に頑張ってください。一緒に働ける日を楽しみにしています。



NEW NURSE 01

当院に入職した理由は？

学生時代に知人から紹介されたのがきっかけです。それまで就職の事を漠然としか考えていなかったのですが、ホームページなどで調べると、当院に惹かれて入職を希望しました。

仕事中に心がけていることは？

当日のタイムスケジュールをしっかり考えるようにしています。患者様と向き合いながらコミュニケーションをとり、意見を傾聴するようにしています。

入職して苦労したところは？

覚えることがたくさんある事ですが、わからないところは先輩看護師に聞くようにしています。優しい先輩ばかりで、すぐに頼ってしまいそうになりますが、ひとつひとつゆっくりと覚えていくようにしています。

同期の人たちとの関係は？

入職した初日に、同期の職員と一緒に研修のプログラムで、コミュニケーションをとるゲームをする機会がありました。年齢が離れている人もいますが、楽しく話をする事ができたので、今ではわからないことを教えあったり、相談したりなど、皆さんと仲良くしています。

先輩看護師やプリセプターとの関係は？

先輩やプリセプターの方は、皆さん優しく指導してくれて、親切に接してくれていると感じます。迷惑ばかりかけてしまっているのですが、この病院を選んで良かったと感じるポイントのひとつです。

NEW NURSE 02



現在の仕事について教えてください。
私は、地域包括ケア病棟に勤務しています。

当院に入職した理由は？
学生時代の実習に来た時、指導して頂いた先輩看護師さんが優しく、その先輩に憧れて、同じ職場で働きたいと思志願して入職しました。

仕事中心に心がけていることは？
言葉遣いには気を付けています。患者様やご家族、先輩や多職種の方など、話をする機会は多くあるので、そこだけは気を付けていますね。

入職して苦労したところは？
コミュニケーションです(笑)先輩と話ができるか最初は不安でした。いろいろと考えてしまっ、変に緊張してしまいましたが、優しい先輩ばかりなので、今では些細な質問も、どんどん質問しています。

看護師としての目標は？
自分の為、患者様の為、もっと知識をつけるように努力をしていき、患者様から「あなたが担当で良かった」と言ってもらえるような看護師になりたいです。

看護学生に向けて。
最初は知識や技術がないのは当然だと思っ、積極的に質問してほしいです。もちろん自分での勉強も大切ですが、この仕事は、日々成長が実感でき、やりがいが多いと思います。みなさんが入職される時にはプリセプターが出来るように頑張ります。

NEW NURSE 03



当院に入職した理由は？
私は奨学金を利用して看護学校に通っていました。当院は学生の支援も行い、過ごしやすい職場です。また、当院は消化器疾患の患者様だけではなく、循環器など様々な分野を学ぶことができ、多岐にわたって患者様との関わりが、自分にとってのスキルアップになると考えたので、入職を希望しました。

休みの日は何をしていますか？
休日は外に出てリフレッシュしていることが多いです。職場の先輩とプロ野球観戦に行ったり、カフェ巡りやショッピングなどを楽しんでいます。

看護師としての目標は？
将来、褥瘡認定看護師の資格を取りたいので、それまでに沢山の患者様と関わり、知識や技術を磨いていきたいと思っています。また、患者様やご家族、スタッフに頼られるよう話しやすい雰囲気作りをしていきたいです。

看護学生に向けて。
私は准看護師として働きながら学校に通っていたので、大変な時期もありました。でも患者様やご家族が喜んでくれる姿を見ると、もっと頑張ろうと思える職種です。学生時代は勉強や実習で心が折れる事だらけだと思います。乗り越えた先に、素敵な仲間や先輩に出会えたり、社会人としての視野も広がります。大変だとは思いますが、一緒に頑張りましょう。

先輩看護師 座談会

入職3年目から7年目の看護師に集結していただきました。
この5人の看護師は、実際に同じ病棟で勤務しながら後輩の育成の為にプリセプターをしています。年齢も近く仲が良いとのこと、座談会を企画し密着してみました。
※左からSさん(5年)Kさん(6年)Dさん(7年)Yさん(7年)Tさん(3年)

Preceptor Discussion

当院の看護部の特徴について

D:みんな同じ急性期病棟なんですよ。仲いいよね？

Y:年齢も近いし仲いいと思う。

S:仲が良いからこそ、仕事やプライベートの事も相談してるね。

K:でも、基本的に急性期病棟の看護師は基本バタバタしてるよね？

T:入院と退院が多いですもんね。

K:本当に忙しくなると、ちょっとだけピリッとするといいよね(笑)

全員:(笑)

S:その切り替えはみんなすごいですよね。

T:先輩の仕事モードすごだから「頑張ろう」って思います。

Y:確かにONとOFFがしっかりしている人が多いと思う。

D:そのへんは病院全体がそんな雰囲気ですね。

当院の魅力は？

K:急性期から緩和ケアまであるところだと思います。

S:それぞれ看護の特色も違うので、学びたい看護には積極的に学べます。

D:地域包括ケアから退院して、自宅で訪問診療や訪問看護を利用している患者様も多いよね。

Y:一貫性のある看護を学ぶことができますね。

T:認定看護師を持つ方も多くいらっしゃるの、専門的な看護も学べます。

5人の関係性は？

D:Yさんとは同期で、Kさんは1つ、Sさんは2つ、Tさんは4つ後輩ですね。

Y:Kさんはほぼ同期なので、SさんとTさんは、後輩の中でもしっかりしているかなと思います。

K:後輩だけじゃなく、見たことないし、仕事もできるんです。

S:恥ずかしいです(笑)

T:DさんもYさんもKさんも仕事が早いし、的確なので、頼れる先輩です。

S:相談もしやすいので、困ったときはいろいろ聞いています。

D:プライベートでも仲がいいよね。

K:全員揃うことはなかなかないけど、ご飯いったり、飲み会したりしてますね。

S:Kさんはお酒をのむとよくしゃべりますね(笑)

T:わかります。仕事とのギャップが好きなので、そこで仲良くなったと思います。

K:そんなことないよ(笑)私よりSさんでしょ。

D:この話はいろいろ出てきそうなのでここまでにしておきましょう(笑)

プリセプターとして気を付けていることは？

K:話しかけやすい雰囲気は作っています。

S:わかります。どうしても忙しくなるとバタバタする病棟なので、なるべく気かけたり、逆に「悩んでることない？」って聞いたりしてます。

Y:あとはわかりやすく、適切に、教えてます。

D:そうだね。問題が起こった時も、その日のうちに解決できるように、一緒になって考えてます。

T:私は付いたことのない処置があれば積極的に参加できるように声掛けをしたりしています。

D:私達が新人の頃、プリセプターの方にとっても良くしていただいたので、私達もそんなプリセプターでいたいと思います。

どんな後輩に入職してほしいですか？

K:どんな後輩でもたくさん入職してくれると嬉しいです。

D:確かにそこは大切だね。

S:私はコミュニケーションとってくれる人が良いです。

T:わかります。仕事でわからないことも聞いてくれる方がいいですね。Y:確かに聞いてくれる人の方がいいよね。

S:あと、ONとOFFの区別がしっかりしている人が良いですね。仕事はちゃんと仕事する。遊ぶときはしっかり遊ぶ。私達みたいな(笑)

全員:(笑)

中津市のここがオススメ

D:からあげ

全員:(笑)

K:最近はオシャレなカフェも多くできてますし、ご飯もおいしいところが多いです。

T:居酒屋も多いし、日ノ出町商店街はよく行きます。

S:ぜんぜん別ですが、肌のケアをしてくれるお店があって、そこは本当にオススメです。

Y:中津市はお店がギュッと集まっているから住みやすいですね。

D:都会過ぎないので、一人暮らしにはオススメです。

新人にとってどんなプリセプターでいたいですか？

D:自分達がプリセプターの先輩を目標にしたように、自分達を目標にもらえるような、頼りになるプリセプターでいたいと思っています。Y:看護師という仕事は、きついこともたくさんあって、悩むこともたくさんあると思うけど、そこに気が付いてあげることができる、そんなプリセプターでいたいですね。

K:話しかけやすい雰囲気を作ってあげたいですね。先輩ってだけで話しかけにくいと思うので、そこはなくてあげたいと思います。

S:私も頼りになるプリセプターでいたいですね。職場では先輩として

しっかり指導しますが、プライベートは先輩というよりも「お姉ちゃん」みたいな関係がいいです。

新人さんとご飯に行ったりしたいです。

K:私もプリセプターをしていただいた方が目標ではあるので、新人さんから見ると、しっかりして優しい、そんなプリセプターでいたいと思います。

D:みなさんと働ける日を楽しみにしています。



外 来

病院広報が潜入！
毎月約2,000名の
外来患者様を対応する
スペシャリスト達に密着

中津胃腸病院では毎月多くの患者様が外来を受診していただいています。発熱外来をはじめ、外来看護師の業務に密着してきました。

看護師	17名
平均外来患者数	91人/日

中津胃腸病院で患者様の窓口にあたる、「外来」に潜入してきました。みなさんは、外来看護師のことをどこまで理解しているでしょうか？私自身、「病院に通院した際に対応してくれる看護師さん」のイメージです。実際に行っている仕事内容などは、わからないことも多いと思います。そこで今回は、そんな疑問を解消すべく外来に潜入してきました。

外来とは？

そもそも外来とは、患者様が入院せず病院に通院して頂き、診察を行う場所のことをいいます。よく「外来患者」という言葉を耳にしますが、これは入院していない患者様を指しています。当院では、外来に来られた患者様が、実際に処置を必要とし、それに対する対応を行うのも外来看護師の仕事になります。診察を受け、入院が必要な患者様やそのご家族様などの対応や手続きなども仕事内容に含まれます。そのため、外来看護師は患者様の状態を把握し、ニーズに応じた判断力が求められます。



今回密着させていただいた看護師さん。忙しい中の撮影でしたが、カメラを見つけるとピースしてくれました。ONとOFFの切り替えが凄い。

診察補助

医師が患者様へスムーズに診察・検査できるよう、外来看護師は患者様を診察室に案内したり、バイタルチェックを行ったり、医師が使用する器具の準備を行ったりします。これは私の外来看護師のイメージと同じで、医師や患者様に対するきめ細やかなサポートや気配りを常に行っているのが印象的でした。

処置や指導

外来で診察を受けた患者様を医師の指示通りに処置を行います。その後帰宅した際に、服薬や生活制限などを行えるよう、診察後に再度看護師から患者様に対して生活指導を行います。患者様の中にはご高齢の方も多く、優しい言葉で話しているのが印象的でした。また、入院での治療が決まった場合は病棟の担当看護師に患者様の状況を報告したり、患者様に再度説明したりすることも外来看護師の役割です。

発熱外来

近年、新型コロナウイルスに対応すべく、当院では発熱外来を設けています。発熱症状のある患者様などの抗原検査やPCR検査を行うのも外来看護師の仕事になります。感染が落ち着いてきたとは言いますが、緊張感のある雰囲気の中「最前線で戦っている」そんな印象を持ちました。

勤務形態

そんな外来看護師ですが、休日が固定なので、プライベートな時間を計画しやすいのが特徴です。子供の行事や友達との旅行や買い物など、充実した休日にするのも良いかもしれません。

仕事内容

当院の主な仕事内容としては、通院して頂いた患者様の診察補助・処置や指導・発熱外来の対応などがあり状況に応じて柔軟に対応しています。

患者様の電子カルテを細かく確認
看護師として感じた事など些細な変化も
見逃さないように記録しています。



急性



患者様とコミュニケーションを
しっかりとりながら、状態の変化
などが無いか確認を行っています。
患者様も笑顔で話しをしていました。

「一般急性期病棟」と聞くと、みなさんどんなイメージでしょうか？私は、「入退院が激しい」「重症な患者様が入院」といったイメージがあります。そんな一般急性期病棟である2病棟で働く看護師に密着取材を行うべく、潜入してきました。当院には、現在外来診療で入院が必要となる患者様には、2病棟と3病棟のどちらかに入院いただいています。両病棟に潜入取材を行う中で、患者様の入院期間での目的が違うように感じました。(3階病棟は次のページでご紹介いたします)

一般急性期病棟とは？

まず、今回潜入しました2階病棟である「一般急性期病棟」は、手術前、手術後の患者様が多く入院しています。また、急変する恐れのある患者様など多岐にわたった疾患の患者様が入院し治療を行っている病棟になります。

仕事内容

基本的には入退院が多く、入院や退院の準備や対応、手術前や手術後の患者様のケアなどが主な仕事としてあげられますが、患者様の性格や病状によって、対応が変わり、多岐にわたって柔軟に対応しています。

手術前の対応

一般急性期病棟には手術を控えた患者様が多く入院しております。

患者様にとって、手術は精神的な不安があり、病状によっては痛みがある患者様もいます。そのため、毎日、朝と昼に検温に回る際などは、重症度などを考えて回り、患者様の変化や、些細な言動なども取りこぼさないよう、コミュニケーションをとりながら声掛けをし、記録を行っていました。患者様が看護師が来ると、嬉しそうに話している姿を見ると、私も自然と笑顔になっていました。

手術後の対応

手術を行い痛みがある患者様などは、痛みのコントロールを考えながらケアを行っています。寝たきりの患者様なども多く、褥瘡などのケアを行いながら保清などを行い、患者様に変化などが無いか、注意深く観察を行っています。取材当日、病状も回復し、退院していられる患者様がいらっしゃいました。看護師が患者様やご家族から「ありがとう。あなたが担当で良かった」と言っていただけでした。その時の患者様の笑顔と、嬉しそうに答えていた看護師の顔がとても印象に残っています。

当院の急性期で学べる事

「中津胃腸病院」という名前ですので、胃や腸などの疾患を持つ患者様が多く、入院しています。高齢者の患者様も多く、日によって容体が変わることが多くあります。そのため看護師には柔軟な対応が求められます。今年入職した新人看護師もプリセプターや先輩看護師などに質問しながら、日々成長しています。20代30代の看護師も多く、実際に密着取材を行う中で新人看護師が、先輩看護師に質問していました。年齢の近い看護師が多く質問しやすい環境なのも特徴かもしれません。新人だけではなく、2年目3年目の看護師や、中堅看護師に至るまで、いろんな看護師がコミュニケーションをとりながら、「最善の看護を提供している」と感じました。



患者様の点滴をダブルチェック
あたりまえですが、大切なこと。
「慣れ」が一番怖いので
日々、気持ちを引き締めています。

病院広報が潜入！ 一般急性期病棟に密着 急性期だから感じることは？

中津胃腸病院の一般急性期病棟は病床数が52床で多くの患者様が入院されています。入退院が激しく忙しいイメージのある急性期の看護師の業務に密着してきました。

看護師 32名

病床数(一般急性期) 52床

期



地域

病院広報が潜入！ 他職種との連携や退院支援 地域包括ケア病棟に密着

中津胃腸病院の地域包括ケア病棟では、多くの患者様が在宅復帰に向けて、リハビリなどを行っています。多職種との連携など地域包括ケア病棟で働く看護師に密着してきました。

看護師	26名
病床数(一般急性期)	3床
(地域包括ケア)	43床

包

地域包括ケア病床をみなさんご存知でしょうか？異業種から転職してきた私は、当院に入職するまで知りませんでした。そんな、私も勉強を兼ねて、3病棟に潜入取材に行ってきました。実際に行う仕事内容や、2病棟(一般急性期)との違いを感じていければと思います。

地域包括ケア病床とは？

まず密着するにも、地域包括ケア病床について理解しておかないといけません。地域包括ケア病床とは、患者様の病状が安定後、安心して自宅に帰宅し、かつ自分らしい生活を行うために入院する病床のことで、入院できる日数は、原則最長60日以内と定められています。そのため、およそ2か月の間に、「在宅復帰ができるまでの回復」を目的・目標としたリハビリのプログラムが組み込まれます。また看護師のほかに理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などリハビリの専門職や管理栄養士などが、医師の指示にもとづいて患者さんへのリハビリ指導・生活動作支援や栄養指導を行います。チーム医療としての側面も強く、社会福祉士やあらゆる専門職とともに入院患者さんの医療ケアやサポートを行っています。

仕事内容

地域包括ケアで働く看護師の主な仕事内容は、入院の受け入れ・退院の支援・ご家族の支援・患者様やご家族、各種専門職間の調整になります。通常の看護業務のほか、患者様が在宅復帰に向けてのリハビリを行ったり、患者様とご家族に復帰後の生活イメージをしてもらうための、マニュアル作成をしています。

入院の受け入れ

地域包括ケアの看護師は、患者様の入院受け入れをサポートしています。特に多いのは、急性期治療が終了した直後の患者様です。急性期病棟での入院や治療が終了し、退院できる状態でも、退院後の生活が不安な患者様は少なくありません。患者様が安心して在宅復帰ができるよう支援を行います。

退院の支援

多くの患者様は「在宅での療養生活」のイメージが出来ていないようです。在宅療養中はどのように過ごすべきか、看護師が患者様に向けて、退院後の生活をイメージしたうえで安心して退院できるよう、専用のマニュアルを作成していました。患者様に適したサポートを行うことが大切なのだと感じました。

ご家族の支援

退院後の患者様を支えるご家族もまた、「在宅療養中、自分は適切な介護を行えるのか」など何らかの不安を抱えているとのことです。看護師に聞くと「患者様が安心して自宅で過ごすためには、ご家族の協力が欠かせません。患者様と、ご家族がともに安心して過ごすために、ご家族にも支援しています」とのことでした。

各種専門職間の調整

患者様が、よりよい状態で退院し、安心して在宅や施設での療養生活を送るためには、医師・看護師・リハビリ・管理栄養士・社会福祉士などあらゆる専門職からの支援が必要になります。さまざまな専門職の間に立ち、患者様やその家族の情報を共有していました。入院している時だけではなく、患者様やご家族のその後の生活も考えて医療を提供しているのが印象的でした。



「カメラ向けられると緊張します」と言っていた看護師さんも、仲が良い看護師さんが来ると緊張していた顔が笑顔になりました。

患者様のそばで状態の変化など業務の効率化を図るために、すぐに記録を行っていました。



当院の特徴のひとつでもある緩和ケア病棟に潜入取材を行いました。実は私の祖父も当院の緩和ケアを利用した患者のひとりです。当時は職員として関わるなど思ってもいませんでしたが、密着取材を行う中で見えてきた、緩和ケア病棟で働く看護師を紹介できればと思います。

緩和ケアとは？

まず緩和ケアとは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者様とご家族のQOLを、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチを行うことを言います。当院の緩和ケアは大分県北部でもいち早く取り組みをはじめ、患者様に対して、体と心の痛みを和らげる総合的ケアを提供し、患者様が最期まで自分らしく生きられるように支援しています。

仕事内容について

緩和ケア病棟に配置される看護師は、医師の指示のもと担当患者様のケアを行っています。患者様ひとりひとり症状や痛みが違うため、痛みのコントロールができるよう、薬物治療などを用いています。また、患者様だけではなく、ご家族のケアを行っています。当院では、緩和ケアに関する専門的な知識と高いスキルをもった認定看護師も在籍しています。また、他部署との連携を図り、病院全体で患者様とご家族をサポートしています。

毎年敷地内で行われる「花火大会」緩和ケアに入院されている患者様とご家族も一緒に花火を楽しんでもらいます。打ち上げ花火も200本点火するイベントです。

四季折々のイベント

緩和ケア病棟に入院されている患者様に、最期まで自分らしく生きていただきたいと考え、四季折々のイベントを行っています。潜入取材を行った時期では、夏の花火大会に向けて準備を行っていました。打ち上げ花火や手持ち花火などたくさん花火や出店を準備していました。患者様とご家族様との思い出になればと考え、毎年企画している大イベントです。そのほかでは、子供神楽やお茶会、クリスマスなど季節に合わせてイベントを準備しています。準備を行う看護師に話を聞くと「毎年パワーアップして準備が大変」とのことでした(笑)

コロナ禍での緩和ケア

「ものすごく苦労しました」と看護師は口をそろえて答えます。実は当院の緩和ケア病棟は面会を時間制ではありますが許可していました。もちろん許可をするということは感染のリスクも高くなります。しかし、患者様がご家族に会った時の笑顔にはかえられません。現在も細心の注意を払いながら、仕事に取り組んでいます。



患者様とご家族のケア

緩和ケア病棟の看護師が他病棟と大きく違うのは、患者様の疼痛コントロールがあげられると思います。薬物療法などをもちいて、患者様の痛みの管理を行っていきます。患者様ひとりひとりで症状や痛みが違います。患者様の状態を基づいて医師に相談し、そのうえで投与やケアを行っています。また、ご家族のケアも大切な仕事のひとつになります。最期をむかえるにあたり、ご家族のメンタルケアを行います。そのため、日頃よりご家族の話聞き、患者様との関係性などを把握していきます。ご家族の希望で自宅で最期を迎えたいといった要望も、柔軟に対応します。当院の救急車などを利用し自宅へ送り届けています。今回密着潜入して感じた事は、患者様やご家族との関わり方、最期まで自分らしくいてもらうために考える看護師の姿を見て、祖父の入院していた時を思い出し、こんなに考えてもらっていたことに感動しました。是非当院の緩和ケア病棟に見学にいらしてください。

緩

看護師	16名
病床数	14床

和

病院広報が潜入！ 緩和ケア病棟の看護師に密着 苦痛緩和だけじゃない。 患者様やご家族への支援とは？

中津胃腸病院の緩和ケア病床では、がんと申告された患者様の苦痛緩和と症状のコントロールを行っています。安楽な日常生活を送れるように、他職種と連携を行い支援を行う看護師に密着してきました。

ケア

毎年行われるイベントの「子供神楽」最後には患者様ひとりひとりと握手。お孫さんほど歳の離れた小さい手に患者様は涙を流しながら喜んでもらっています。



救急外来



救急外来の未来 新卒の救急救命士

2022年 緊急受入れ実績

■救急車受け入れ件数	594件
■時間外受入れ件数	1783件
■COVID-19入院患者数	183件

みなさん病院で働く救急救命士がいることをご存知でしょうか？私は救急救命士と聞くと消防署の救急隊として働きながら、体を鍛えている。そんなイメージですが、じつは病院で勤務している救急救命士も全国にはたくさんいます。当院にも2023年度に新卒で入職してくれた救急救命士がいます。当院は、救急外来を2022年3月にリニューアルオープンし、24時間365日万全の状態を受入れを可能にしました。そんな、救急外来で働く、新人救急救命士にインタビューしてきました。

現在の所属と仕事内容は？

現在、主に外来で勤務しながら、救急で来院される患者様の対応や、外来患者様の問診などを行っています。当院には患者様を病院間で搬送する救急車があり、搬送を行うさいには同乗しています。

病院の救急救命士とは？

「救急救命士＝消防署」のイメージを持つ方も多いと思います。学校に通う中で、就職を考えたときに、地元の病院で救急に力を入れている病院がいくつかあり、たくさんの知人に話を聞いた中で、当院ことを知り興味を持ちました。今は、救急の認定看護師の方や、外来の看護師さんに教えてもらいながら、少しずつできる処置を増やしています。当院の救急外来はリニューアルしたばかりで、救急車の受け入れ件数も年々増加傾向にあり、「困ったときの中津胃腸病院」と言ってもらえるように日々努力しています。

仕事でのやりがいとは？

まだ入職して間もないので、わからないことも多いのですが、たくさんの患者様と携わり、「ありがとう」と笑顔で言ってもらえると「頑張ろう」ってなります。

救急外来の雰囲気は？

基本、外来看護師の先輩方と行動しているのですが、優しい先輩ばかりで本当にいい職場だと思います。他部署の方と関わることも多くありますが、皆さん本当に優しい方ばかりです。

目標を教えてください。

個人的な目標としては、知識をもっと増やしていきたいなと思います。状況に応じた柔軟な対応が出来るようになりたいです。あとは、地域の救急隊から「救急なら中津胃腸病院」と言ってもらえるように努力していきたいと思っています。

最後に学生に向けて

右も左もわからないことが多いと思いますが、積極的に学ぶ姿勢をもって頑張ってくださいと思います。

手術室から 看護部を支える 男性看護師

2022年 手術実績

■手術件数	737件
■消化管悪性腫瘍手術	40件
■胆石症・胆嚢疾患(良性)手術	40件
■肛門疾患手術	53件

当院にも男性看護師が勤務しており、なかでも勤務歴が長く、現在手術室の担当をしている男性看護師がいます。そんな男性看護師にインタビューしてきました。

所属と勤務歴を教えてください。

現在の所属は手術室を担当しながら病棟勤務を兼任して行っています。勤務歴は10年目になります。

兼任？

そうですね。手術前後を含めた周術期として患者様にかかわることが出来ていると思います。

手術室の担当とは？

病棟と兼任という立場なので、手術を安全かつ円滑に遂行できるように、全体の把握や器材の管理などを行っています。

男性看護師って珍しいですよね？

そうですね(笑)学校にも少なかったですし、どうしても女性の職場のイメージがつよいかと思います。実際働くと、男性看護師が必要な機会は多くあるので、本当に増えてほしいと思います。

苦勞したことはありますか？

看護を提供するうえで、各場面や役割で何が自分に求められ、自分が何をしなければいけないのかを判断し、実行しなければいけないので、そこは苦勞しました。今までの経験を糧に行動出来ていることも増えてきましたが、今も継続して研鑽しています。

男性看護師としての苦勞は？

…。あんまりないですよ(笑)当院の看護師は優しい方ばかりですし、よく話してくれるので、苦勞した覚えがないんですよ。

男性看護師から見た看護部は？

和気あいあいとしています。いい意味ですが、ONとOFFのメリハリがしっかりしてるんですよ。これに関しては看護部に限ったことではないんですが、当院のスタッフは、働くときはちゃんと真面目に働く。遊ぶときは、とことん楽しむ。みたいな人が多いので看護部だけではなく病院全体がこんな雰囲気ですね。

最後に学生に向けて

今は勉強や実習できついことも多いと思います。自分も看護師の先輩も、みんな同じ経験をして看護師になっています。なので先輩看護師を頼ってほしいです。わからない事や悩みを共有できたら嬉しいなと思います。みなさんと働ける日を心待ちにしています。



手術室



教育方針

中津胃腸病院では卒後1年を通して新人看護師を育成する新人教育プログラムがあります。新人のときは、だれでも不安がいっぱいですよ。そんな新人看護師の皆さんと一緒に考え、看護能力を高めていくプログラムを実践していきます。プリセプターシップ体制をとり看護師として成長する過程をフォローします。

認定看護師

当院は専門分野でのプロフェッショナルな看護師を増やすため、看護スキル・知識の向上に病院全体でサポートを行っています。

NP 診療看護師

患者に必要とされる診療行為を医師や他の医療従事者と連携・協働し、効果的・効率的・タイムリーに実践できる能力を備えた看護師を言います。一定期間専門的知識・技術を学びます。

資格取得支援制度

資格取得に向けた支援制度があります。それぞれ専門分野を生かした看護実績をサポートし、質の高い看護を提供できるよう活動します。

プリセプター制度

最も身近な先輩として指導、サポートし相談に乗ります。現場では、他の看護師やスタッフなど病棟全体で新人育成のフォローをします。

ラダー制度

計画的にキャリアアップを目指すプログラムです。看護師の強みがもてるよう、当院での特色のある看護を学び、将来の目標に向かって着実に成長できるように支援します。



Hospital Calendar

中津胃腸病院の年間スケジュールです。当院は職員向けや患者様向けイベントも、全力で楽しみ全力で楽しませよう、全職員取り組んでいます。



研修

他部署研修や認定看護師との勉強会など様々な研修を行っています。

4 辞令交付式
新人歓迎会
他部署研修

6 看護手順・技術研修
胃管挿入研修
PEG研修
経管栄養研修
輸血研修

8 いちよう大感謝祭
看護手順研修
救急蘇生研修
気管内挿管の介助研修

10 子供神楽
外来研修

12 忘年会
麻薬・薬剤管理研修
地域包括ケア研修
緩和ケア研修

2 化学療法研修

合同説明会参加(マイナビ)

インターンシップ・見学会・説明会

随時受入可

採用試験

随時受入可

5 避難訓練
看護手順・技術研修

7 納涼会
グループワーク研修

9 機能評価
RelayForLife

11 大分県病院学会
避難訓練

1 他部署研修

3 1年振り返り研修



看護師 1 DAY

8:00
出勤

9:15
保清

9:00
朝礼

10:00
検温

14:00
検温

12:00
食事介助

17:00
退勤

情報収集

16:00
Dr報告



Hello! Nakatsu

入職すると暮らすことになる中津市を
新人看護師と共にレポートいたします。
是非中津市に来た際は行って見てね。



塩派？
醤油派？
好きなお店を
見つけてね！



中津市耶馬溪町にある青の洞門。
秋には紅葉がきれいで、有名な観光地です。
紅葉のシーズンはバイクのツーリングや観光
客で賑わいを見せ、夜になると幻想的なライ
トアップを行っています。

1 中津 からあげ

中津と言えば？の質問にほとんどの方は
「からあげ」と答えるのではないですか？
中津市は、からあげの聖地ともいわれ、
コンビニより多くのからあげ専門店があります。
お店ごとに味が違うので、お気に入りのお店を
見つけてみてください。

2 青の洞門



3 中津城

1588年に豊臣秀吉の側近で軍師でもあった
黒田官兵衛が築城し、今治城と高松城に並
ぶ日本三大水城の1つに数えられています。
二の丸公園には多くの桜の木があり、春に
なると花見などで賑わいを見せています。



4 合元寺

赤壁として有名な合元寺ですが、中津城近
辺には城下町の雰囲気が多く残っています。
夏には中津祇園があり、中津市民だけで
なく、多くの観光客も参加するお祭りです。

中津城にある
からくり人形の
おみくじ
仕事運と恋愛運
どっちも大切！



5 日ノ出町 商店街

JR中津駅近くにある商店街で、昼間は商店
街。夜は居酒屋などが多く賑わいを見せる
お気に入りの場所です。おいしいご飯屋さ
んも多くあり、お気に入りのお店を見つ
けるのも良いかもしれません。

